

長嶺地域コミュニティ協議会だより

「沼垂まつり」特集号

発行日 平成 25 年 9 月 11 日 発行責任者 会長 水本直弥 編集・発行 広報部 平石三男

この広報誌は新潟市地域活動の補助金を受けて発行しました ホームページ www11.ocn.ne.jp/~minekomi

沼垂まつりを終えて

長嶺地域コミュニティ協議会
副会長 大竹順一

伝統ある沼垂まつりは、毎年8月15日・16日に行われています。今年の沼垂まつりは天候に恵まれ、大勢の皆さんから参加して頂き、無事終了する事が出来ました。

各自治会町内会を窓口をお願いした協賛金は10万円にも上りました。大変ありがとうございました。この協賛金で山車や灯籠で参加した町内会にご祝儀をお渡しすると共に、「沼垂まつりの幟旗」を3枚購入して西片原一丁目町内会と沼垂古町一・二自治会をお願いして揚げて頂きました。幟旗が多くなり賑やかになりました。また、「子ども灯籠」の絵を新しくしたり、子ども達のお菓子・飲み物・昼食等に使用させて頂きました。

今年も長嶺コミ協は「子ども灯籠」で参加し、西片原二・三町内会からは「山車」を、古稲荷町町内会からは「大灯籠」と「子ども灯籠」で参加し、まつりが盛り上がりました。「山車」と「子ども灯籠」は、昼間の行列に参加でしたが、「山車」を引く子ども達・「子ども灯籠」を引く子ども達と、多くの方から参加して頂いて大変良かったと思います。「山車」コンクールでは、各町内会・長嶺コミ協ともに賞を頂きました。夜の部の押し合いの古稲荷町町内会「大灯籠」は迫力満点でした。



元気に「山車」を引く子どもたち



新しくなった絵の「子ども灯籠」を引く子どもたち



「大灯籠」と「子ども灯籠」で参加した古稲荷町町内会のみなさん



沼垂まつり参加者の皆さんです



湊稲荷神社で行われた出発式



沼垂四ッ角では審査員の前で子ども灯籠の押し合いが行われました